

関係機関・団体・課・室長 様

兵庫県農政環境部長

令和 2 年度 兵庫県農業気象技術情報第 2 号 (6 月情報) について (送付)

このことについて、下記のとおり情報を作成しましたのでお送りします。

記

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
水稲	県北	1 生育 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。 中干しまでは浅水管理又は間断灌水を行い、中干しは遅れないようにする。 (1 株当たりの分けつが 15~17 本になれば中干しを始める。)	
	県南	1 生育 苗の生育は順調である。 田植え後は活着までやや深水管理し、その後、中干しまでは浅水管理又は間断灌水を行う。 除草剤処理期間中の深水はやむを得ないが、深水にすると葉が伸びすぎるため、活着後の深水には十分注意する。	
	全県共通	1 病害虫 西播磨地域ではイネ縞葉枯病の多発傾向が続いている。加えて、同病の媒介虫であるヒメトビウンカの発生は平年並みの見込みであるため、箱粒剤施用等により予防する。 葉いもちは、移植後の早期発見に努める。補植用苗は、葉いもちの発生源になるので、ほ場から早めに持ち出して処分する。ブラスタム情報を参考にする。	
麦	全県共通	1 生育 小麦の成熟期は、平年並~やや早まると予想されるので、適期収穫に努める。 出穂はシロガネコムギで平年より 15 日早かったが、開花期は平年並~やや早い程度であった。このことから、成熟期も平年並~やや早い程度と考えられる。 2 病害虫 成熟期に赤かび病についてはほ場巡回調査を行い、発生状況を確認しておく。	1 生育 ほ場の排水を徹底する。 子実水分 25% を目安に適期収穫に努める。 収穫作業をあまりに急ぎすぎて、コンバインの扱胴回転数を上げすぎないようにする。 湿害による枯熟れ、倒伏等があれば、刈分けを行う。 2 病害虫 赤かび病が見つかった場合は、収穫期の刈分け指示や荷受け時の仕分けなどを行う。 荷受け時の赤色粒で粒自体に光沢があり、表面がなめらかなもの (シワがない) は、アントシアン粒であることが多いのでよく確認する。

作物	地域	栽培上の留意点	対応策										
大豆	全県共通	<p>1 栽培管理 ほ場条件が良い時に播種できるよう準備する。</p> <p>2 病害虫 健全種子を播種する。</p>	<p>1 栽培管理 額縁明きよや排水溝を必ず設置し、排水対策を徹底する。 ほ場条件が良い時に適期播種を行う。</p> <p>2 病害虫 排水対策をしっかりと実施する。 播種前後の薬剤処理により、アブラムシ類等の防除を図る。</p>										
キャベツ	全県共通	<p>1 栽培管理 (1) 降雨によるほ場の滞水を避ける。 (2) 降雨がなく土壤の乾燥が続く場合、球内にチップバーンを生じることがあるので注意する。 (3) 高温期は降雨等により球が急激に肥大し、裂球しやすい。</p> <p>2 病害虫 県南部地域では春の早い時期からコナガがみられている。</p>	<p>1 栽培管理 (1) 畝間の均平化や落水口への確実な連結により排水性を高める。 (2) 10日以上降雨がない場合、畝間灌水等を行う。作土が浅いほ場では特に土壤の乾燥に注意する。 (3) 球の締まり具合を確認しつつ順次収穫し、とり遅れないようにする。</p> <p>2 病害虫 「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考に適正に防除する。</p>										
果樹	全県共通	<p>1 生育 下表のとおり、樹種により差がある。</p> <p>樹種別の生育状況</p> <table border="1" data-bbox="347 1368 1337 1635"> <tbody> <tr> <td>ブドウ※¹</td> <td>開花期は昨年とほぼ同時期で、平年並の見込み。</td> </tr> <tr> <td>クリ※¹</td> <td>開花期は昨年より1日早く、平年に比べ3日早い。</td> </tr> <tr> <td>ナシ※²</td> <td>開花期は昨年より5日早く、平年に比べ4日早い。</td> </tr> <tr> <td>イチジク※¹</td> <td>発芽は平年より7日早く、展葉は平年に比べ6日早い。</td> </tr> <tr> <td>温州ミカン※³</td> <td>開花期は昨年より2日早く、平年に比べ4日早い。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 加西市 ※2 朝来市 ※3 南あわじ市</p> <p>2 栽培管理 (1) 樹勢や生育状況に応じた着果管理に留意する。 (2) 果実肥大や着色を促すための栽培および土壤管理に留意する。 (3) ハウス栽培は、昼間の温度が高温になりすぎないように留意する。 (4) ナシ（北但地区）では受精不良や降雹の影響に注意した結実管理を行う。</p>	ブドウ※ ¹	開花期は昨年とほぼ同時期で、平年並の見込み。	クリ※ ¹	開花期は昨年より1日早く、平年に比べ3日早い。	ナシ※ ²	開花期は昨年より5日早く、平年に比べ4日早い。	イチジク※ ¹	発芽は平年より7日早く、展葉は平年に比べ6日早い。	温州ミカン※ ³	開花期は昨年より2日早く、平年に比べ4日早い。	<p>1 生育 生育状況に応じた栽培管理を行う。 生育のバラツキが大きい場合は、新梢管理や結実管理で調節する。 結実不良の樹は、摘果時に着果量確保に努める。</p> <p>2 栽培管理 (1) 樹勢が弱い場合は、着果量を減らす。 (2) 土壤が乾燥する場合は、灌水を行う。特に、苗木や幼木は、生育を促すため乾燥防止に努める。 (3) 換気により温度上昇を防ぐ。 (4) 変形果や障害果を見極めた摘果作業と、樹勢に応じた着果量の確保を行う。</p>
ブドウ※ ¹	開花期は昨年とほぼ同時期で、平年並の見込み。												
クリ※ ¹	開花期は昨年より1日早く、平年に比べ3日早い。												
ナシ※ ²	開花期は昨年より5日早く、平年に比べ4日早い。												
イチジク※ ¹	発芽は平年より7日早く、展葉は平年に比べ6日早い。												
温州ミカン※ ³	開花期は昨年より2日早く、平年に比べ4日早い。												

作物	地域	栽培上の留意点	対応策
果樹	全県共通	<p>3 病害虫</p> <p>クリではクリオオアブラムシ等の発生が目立つ。ナシでは黒斑病の発生がやや多く、今後の高温多湿による伝染拡大に注意を要する。果樹カメムシ類は、本年が表年に当たり、フェロモントラップでは例年より非常に多い。ナシ園の一部では袋掛け前に被害果が見られている。また、モモやカンキツにおいても今後の動向に注意する。</p>	<p>3 病害虫</p> <p>発生が懸念される病害虫について「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考に適正に防除する。ナシ黒斑病は袋掛け前と梅雨期の防除を徹底する。</p> <p>果樹カメムシ類については、「令和2年度病害虫発生予察注意報第1号」を参考に防除を行う。</p> <p>http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/02tyuuihou1.pdf</p>

◎水稲・麦・大豆の栽培については、「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病害虫発生予察情報」及び「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」を参考にすること。
 ※本情報は、5月28日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう1か月予報（5月23日～6月22日）

[令和2年5月21日 大阪管区気象台発表]

<予想される向こう1か月の天候>

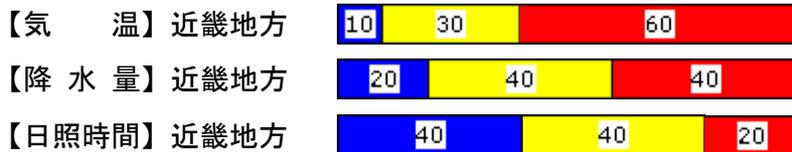
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

期間の前半は、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

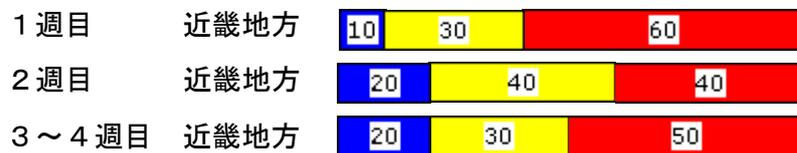
向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率60%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）>



<気温経過の各階級の確率（%）>



凡例： 低い（少ない） 平年並 高い（多い）

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率50%です。

6月 平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

7月 期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

8月 平年に比べ晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率（%）>**【気温】****【降水量】****[近畿地方]****[近畿地方]**

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い（少ない・平年並・多い）の3階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間（1981～2010年）における各階級の出現率が33%となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「病害虫発生予察情報」
<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>
- ・「病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）」
<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>
- ・「稲・麦・大豆作等指導指針」
http://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html
- ・「小麦赤かび病を適期に防除するための開花期予測システム」
http://www.naro.affrc.go.jp/project/results/laboratory/karc/2011/180a0_01_33.html

問い合わせ先**本情報に関すること**

- ・兵庫県農政環境部農林水産局農産園芸課 TEL (078) 341-7711 (代表)
農産班: 主作・機械担当 内線 4069
農産班: 野菜担当 内線 4054
花き果樹班 内線 4066

技術内容に関すること

- ・県立農林水産技術総合センター
企画調整・経営支援部 TEL (0790) 47-2435
農業技術センター 農産園芸部 TEL (0790) 47-2410
農業技術センター 病害虫部 TEL (0790) 47-1222
北部農業技術センター 農業・加工流通部 TEL (079) 674-1230
淡路農業技術センター 農業部 TEL (0799) 42-4880

兵庫県ホームページでも本情報を公開しています。

URL : http://web.pref.hyogo.lg.jp/af11/af11_000000097.html

(兵庫県トップページ>食・農林水産>農業>農作物>農業気象技術情報)